

# キラリ☆ 中野のチカラ

## S a k e F e t i の皆さん



信州のおいしい食と地酒を知ってほしい

飲食店や酒販店、酒蔵の有志の皆さんが市内外のイベントで信州の食や地酒をPRしています。

今回は、信州のおいしいものを知ってもらいたいという情熱あふれる食と酒のプロ「Sake Feti」の皆さんにお話を聞きました。

### ○活動のきっかけ

始まりは、飲食店の主人が酒蔵にお酒を買いに行った先での立ち話でした。その立ち話が熱くなり「いろんな人に信州のおいしい食と酒を知ってほしい」「日本酒を知らない若い人に地酒を楽しんでもらいたい」という強い気持ちから、市内の飲食店や酒販店、酒蔵を経営している若手を中心に手当たり次第に声を掛けました。

現在、中野市内の飲食店4店、酒販店・酒蔵5店と北信地域の酒蔵などのメンバーで活動しています。

### ○活動内容

信州の食材を飲食店メンバーのプロたちがさらにおいしく調理し、その料理と北信州の地酒をイベントで提供して、信州のおいしいものの魅力を発信しています。イベントは自分たちで企画したり、市外のイベン



期日 9月18日(日)  
時間 午前11時30分～午後4時  
会場 志賀泉酒造(東山3-1)  
入場 無料(飲食代別途)  
※ 試飲チケット(前売り券あり)  
問い合わせ先 信州SOUL事務局  
和喜多 ☎ 22-5127



トにブースを出展したりしています。

### ○市民の皆さんへ

日本酒に興味がない、信州の食材を知らない若い人にこそ私たちのイベントに参加して、地元こんなおいしいものがあるということを知ってもらいたいのです。まず地元民が地元のおいしい食材やお酒を知って、それを友達などに紹介することで信州の外にもその魅力が伝わっていくと思います。現在、信州SOULというイベントを企画しています。このイベントには若手の生産者も関わっていて、北信州の日本酒とワイン合わせて16蔵を飲み比べながら、地元農産物や信州食材のつまみを味わえます。私たちがいっしょに「新秋のうまいもん」と地酒」を知り、そして楽しみましょう。

## 広報クイズ

■今月のプレゼント  
「防災グッズ(多機能ライト)」  
……2人

問題  
訓練でも使用した長野県消防  
災ヘリコプターの名前は?

「●●●●」

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、世帯主名を記入の上、今月の広報で参考になった記事、今後知りたい情報などをはがきに書いて、次の宛先までご応募ください。

締め切り 9月23日(金)必着  
※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

先月号の答え ぼたんこしょうの名前の由来は何の花に似ているからでしょうか?

答え・・・「ぼたんの花」

383-8614  
(住所記載不要)  
中野市庶務課  
秘書広報係 行  
住所・氏名・年齢・  
電話番号・世帯主

# 信州中野に住む理由。 VOL. 1

こんにちは！中野市に移住して1年が経ちました、協力隊の内山奈月です。

この1年は、季節行事やさまざまな団体の活動を見学・体験し、地域の皆さんと出会うことで「中野市を知る！」活動をさせていただきました。幼い頃に家族旅行で訪れた思い出の詰まった北信州に憧れて、移住した私ですが、ますます中野市が好きになり、中野市でやりたい事や夢が少しずつ見えてきた…そんな今日この頃です。

次回からは私が感じる信州中野の魅力を、皆さんと共有させていただきたいと思えます。



中野のりんごを売り込み！直売の楽しさを知った日



1年前の委嘱式「中野を自分自身の故郷にしたい」と宣言した日



ぼたんこしょうの魅力をも日本中にPR！



活動拠点「なんだ屋」の月1回ごはん会、おいしい地元食材を使ってます！

Facebookで信州中野の魅力を発信中!!

うちやまと愛犬の小太郎



浸水深想定が見直された。これにより篠井川流域では最大浸水深10mから20mに拡大したところだが、浸

水害に焦点を絞ると、今年5月間の国土交通省から千曲川流域での2日間の総雨量396mmを前提として、

近年、気候変動を皮膚感覚で感じる事が多くなった。昨年9月の関東・東北豪雨は記憶に新しいが、今年6月の梅雨前線による西日本での豪雨災害、8月のトリプル台風による東日本、北海道での豪雨と、気の抜けない気象状況が続いている。中野市でも平成18年に千曲川の増水により替佐地区が浸水するなど大きな被害を受けている。豪雨のみならず地震も頻発している中で、私たちは災害への備えを万全にしなければならぬ。

「中野市は災害があまり起こらない土地であり住みやすいところだ」と市民の皆さんが言われるのをよく耳にするし、私もそう思う。しかしながら安全神話ではないが、そうした思いは思いとして、しっかりとした防災への取り組みと、いざ災害が発生したときの対応などに対しての準備は怠ってはならないと強く心にとめている。

市民のみなさんの安心安全を確保すべく、これからも災害に強いまちづくりを努めていきたい。

水継続時間が72時間から168時間と長期間にわたると想定されている。いずれにしても、昨今の状況を考えると、油断は禁物だ。

中野市は北に夜間瀬川、南に篠井川、中央部に千曲川、西に斑川とそれぞれ重要河川が流れている。これからの出水期、防災は施策の要である。普段からの備えはもちろんのこと、ひとたび災害の危険が迫ったときには、まず身の安全の確保が重要で、防災意識向上の啓発活動、さらに安全確保のためにも、迅速な情報伝達、具体的な避難指示といったソフト面の充実強化が必要と考える。

## 池田市長の わくわくレポート vol.36

